かみりゅう

第 4

号

愛読いただき、ありがとうございました。は上龍門地域まちづくり協議会の広報誌『かみりゅう』をごみなさん、新年あけましておめでとうございます。旧年中

本年もよろしくお願い申し上げます。

の第4号をお届けします。さて、上龍門地域まちづくり協議会の広報紙『かみりゅう』

進地視察研修」の話題です。いトーク」と「上龍門地域探訪」、「上龍門地域防災訓練」、「先「年頭のごあいさつ」、昨年実施された「市長と語るふれあ「9回の内容は、上龍門地域まちづくり協議会の萬世会長



年頭のごあいさつ



のご協力をお願い申し上げます。
ありがとうございました。今年もより一層づくり協議会の事業や活動にご協力を賜りを申しあげます。昨年は、上龍門地域まち新年を迎え、役員一同心から新春のお祝い

員一同微力ですが努めてまいる所存です。 を活力とぬくもりのある住みよい地域となるよう、役員・委いこうとする動きが芽生えてきたように思います。一歩ずつかの事業活動を通して自分たちの地域の課題に向き合ってかの事業活動を通して自分たちの地域の課題に向き合ってかの事業活動を通して自分だめの地域の課題に向き合ってかの事業活動を通して自分だめが減しまりが表して1年8月が経

ちの問題は自分たちで解決するという流れになっています。と言われています。すでに自治の基本に立ち返って、自分たり行政が解決してくれるといった時代はもう巡ってこない昨今もそうですが、これからは、地域課題をすべてにわた

の機能低下までもが心配されるようになってきました。い生産効率の中で農林業が持続できるかどうか、また、集落間地です。立地条件の厳しい小規模農林業地域でもあり、低40%、15歳未満の人口は70名というまさに少子高齢の中山私たちの地域は、250世帯で人口800余名、高齢化率

い申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。以前活力の低下を嘆いていても何も始まります。そのためにもっと地域の人々が出会って交流したり、作ったものや生産もっと地域の人々が出会って交流したり、作ったものや生産した物が流通したり、いろいろな地域情報を発信したりしてものためにものでもの『もの』が移動し、活性化の指標となります。そのためにもい申し上げ、年頭のごあいさつとさせていきが、年頭のがます。どうかより一層のご支援とご協力をお願めてまいります。どうかよりる地域活力の低下を嘆いていても何も始まりません。私たちが、域活力の低下を嘆いていても何も始まりません。私たちが、域活力の低下を嘆いていても何も始まりません。私たちが、域に対している。

上龍門地域まちづくり協議会 会長 萬世晴康

市長と語る

地域の活性化活動のヒントを得ることを目的としています。などについて市長と直接話し合うことで、これからの上龍門この「ふれあいトーク」は、これからの地域のまちづくりふれあいトーク』が田原集会所で開催されました。 10月29日(土)、上龍門地域で初めてとなる『市長と語る

門部所を設置できないか。また、前向きに農業が続けら適正な個体数に調整できないか。駆除や捕獲にかかる専生しており、イノシシやシカの個体数をもっと減らして有害鳥獣対策について、依然として被害はあちこちで発

1

今回は、

か。い作物、販路開拓はできないれる獣害に強い農法や新し



からは積極的な意見が出されました。 以上の4つのテーマで市長との話し合いが行われ、参加者

講じていきたい」との回答を頂きました。 行政からは「地域の意見を参考にして、さまざまな対策を

します。 一体となって取り組み、豊かで住みやすい地域づくりを目指一体となって取り組み、豊かで住みやすい地域づくりを目指まちづくり協議会では、今後、地域の活性化に向けて市と



牧地区で

『第2回上龍門地域探訪』

参加者総勢45名が2班に分かれて"義経伝説"をはじめする『第2回上龍門地域探訪』が牧地区で開催されました。秋晴れに恵まれた10月30日、まち協地域振興部会が所管

ました。とした歴史深い牧地区を散策し



ました。っている「十三重石塔」(写真)などの説明に聞き入っていされる「今城 เハォムじょう](牧城)」跡や重要文化財指定となされる「今城 เハォムじょう](牧城)」跡や重要文化財指定とな

心癒されるひと時でした。

「大蔵寺」とともに「龍門七大寺」の一つに数えては栗野の「大蔵寺」とともに「龍門七大寺」の本尊であっては栗野の「大蔵寺」とともに「龍門七大寺」の一つに数えを像」(県指定文化財)のほかに、鎌倉時代の作とされ、古本が、「覚恩寺収蔵庫」では、覚恩寺本尊『木造阿弥陀如来

晴らしかった」などのご意見を頂きました。かにも「地元が歴史深い地域だと再認識した」「紙芝居が素参加した皆さんからは、前回と同様に「楽しかった」のほ

たも参加してみませんか。性化させる一助にしていきたいと考えています。次回はあな年度も地域をめぐり、地域の歴史に触れることで、地域を活平成28年度の『歴史探訪』はこれで終わりですが、平成29



『第2回

上龍門地域防災訓練』

実施

されました。 なる防災訓練が行われ、140名を超える地域の方々が参加4月20日(日)、上龍門地域まちづくり協議会で2回目と

れぞれの自治会で設定した自主避難場所へ向かいました。いに声をかけ合ったり、安否の確認を行うなどしながら、そ図に、大地震の発生を想定して自宅からの避難を開始。お互当日は8時30分のサイレンの音と消防団の避難広報を合

を加者は、避難訓練に引き続いて各大字から日本教育学院 を加者は、避難訓練に引き続いて各大字から日本教育学院 の署員の方の指導により、簡易担架の作成と搬送訓練も行わ の署員の方の指導により、簡易担架の作成と搬送訓練も行わ の署員の方の指導により、簡易担架の作成と搬送訓練を行力 の署員の方の指導により、簡易担架の作成と搬送訓練を行力 の署員の方の指導により、簡易担架の作成と搬送訓練を行力 の署員の方の指導により、簡易担架の作成と搬送訓練を行力 の署員の方の指導により、簡易担架の作成と搬送訓練を行力 の署員の方の指導により、簡易担架の作成と搬送訓練を行力 の署員の方の指導により、簡易担架の作成と搬送訓練を行力 の署員の方の指導により、簡易担架の作成と搬送訓練を行力 の署員の方の指導により、簡易担架の作成と搬送訓練を行力 の書員の方の指導により、簡易担架の作成と搬送訓練を行力 の書員の方の指導により、1000年 の書員の方の方の日本教育学院

災害は、いつどこで起こるかわかりません。災害に立ち向の中、みんなで協力して、熱心に訓練に取り組んでいました。訓練に参加されたみなさんは、和気あいあいとした雰囲気水消火器などを使った初期消火訓練(写真)が行われました。運動場では、消防署員・消防団員ほかの方々の指導により、

まらづくの協議会では、今後ら各目ない止めることができるのです。と助け合い(共助と互助)が大きな力ると共に、地域のみなさんによる協力のと共に、地域のみなさんによる協力がのに対する意識を持って災害に備えかうためには、一人ひとりが日頃から

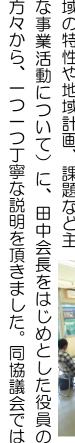
ご参加をお願いします。んでまいります。みなさんの積極的な治会と連携して『地域防災』に取り組まちづくり協議会では、今後も各自

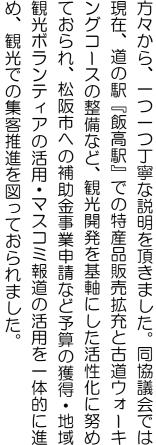


研修のご報告』

を訪問しました。 『せいわの里 まめや』の2か所づくり協議会』と同県多気町のして、三重県松阪市の『宮前まちして、三重県松阪市の『宮前まち員など 14 名が先進地視察研修と11 月 26 日 (土)、役員及び代議

域の特性や地域計画、課題など主真)では、私たちからの質問(地真)では、私たちからの質問(地『宮前まちづくり協議会』(写





げておられました。
「せいわの里」まめや』では、地域の活性化を図るために、『せいわの里」まめや』では、地域の活性化を図るために、『せいわの里」まめや』では、地域の活性化を図るために、『せいわの里」まめや』では、地域の活性化を図るために、『せいわの里」まめや』では、地域の活性化を図るために、

いと考えています。組みを参考として、上龍門地域の活性化に取り組んでいきた上龍門地域まちづくり協議会でも、この2つの団体の取り

広報紙『かみりゅう』に関する連絡先

電話 090-8937-6713 まで上龍門地域まちづくり協議会 地域振興部会

(担当 Y・T)